

第3回日本移民学会冬季研究大会

【日時】2018年12月8日(土) 13:00~16:15

【会場】成城大学

(東京都世田谷区成城6-1-20、小田急小田原線「成城学園前」駅から徒歩4分)

【参加費】会員無料、非会員500円

A会場(7号館713教室) 司会：山口 博史(都留文科大学)

- 13:00~13:40 安藤 幸(京都大学)
「海外に長期滞在する日本人家庭にとっての適応とは」
 - 13:45~14:25 安倍 成美(広島大学・院)
「ライフスタイル移住に関する研究：フィンランドを事例に」
 - 14:30~15:10 今里 基(立命館大学・院)
「韓国ソウルの日本人コミュニティ変容に関する一考察：
日韓国交正常化後の歴史から」
 - 15:15~15:55 庭山 雄吉(武蔵大学・講)
「カナダにおけるニッケイ・マツリ(Nikkei Matsuri)の創設：新移住者の役割」
- 15:55-16:15 質疑応答

B会場(7号館714教室) 司会：森本 豊富(早稲田大学)

- 13:00~13:40 上田 薫(Hoover Institution Library & Archives, Curator)
「米国日系史関連一次資料の保存現状及び今後の展望と課題：北カリフォルニアを中心に」
 - 13:45~14:25 丸山 悦子(常磐大学)
「二〇一五年シカゴ市長選挙における白人、アフリカ系、ラティーノ有権者の候補者選択」
 - 14:30~15:10 朱 振興(同志社大学)
「冷戦初期アメリカ合衆国における中国系移民社会の運動についての一考察」
 - 15:15~15:55 陶山 宣明(Japan Visualmedia Translation Academy)
「ニュージーランドの移民・難民政策」
- 15:55-16:15 質疑応答

会員交流スペース：7号館715教室

問い合わせ：jamswinter2018@gmail.com または
tsukuda@seiyo.ac.jp 佃陽子(成城大学)

